

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

1 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

①「達成度」の評価区分

- ◎：平成32年度目標数値達成
- ：平成27年度中間目標達成
- △：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成26年度末	平成32年度				
i 健康づくりなどの保健事業に満足している町民の割合	%	22.5	28.0	33.0	時点 実績値	26.0 33.1	47.2%	118.3%		◎
ii 地区の健康講座参加者数	人	1,288	1,700	2,200	時点 実績値	1,700 1,630	26.6%	95.9%	ランチルーム活用事業の減少による	△
iii 胃がん検診受診率	%	8.3	30.0	50.0	時点 実績値	30.0 14.6	75.9%	48.7%	PR不足	△
iv 乳がん検診受診率	%	25.7	40.0	50.0	時点 実績値	40.0 24.3	-5.4%	60.8%	PR不足	×
v 午後9時前に就寝する子どもの割合	%	27.5	40.0	50.0	時点 実績値	40.0 27.2	-1.1%	68.0%	生活リズムの啓発をしているものの、ライフスタイルの多様化の影響が大きい	×

②「達成度」の評価区分

- A：十分に達成している
- B：まあまあ達成している
- C：あまり達成していない
- D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 一次予防の推進	◇ イーストブラザいこまい館を拠点に、健康情報を発信するとともに、健康づくりの場を提供することで健康づくりを総合的に支援します。	健康課	とうごう体操の普及のため様々な団体に出勤講座を実施しました。指導者の養成を進めています。妊産婦歯科健診の受診率向上のため、さらなる周知啓発をしていきます。	B
	◇ ライフステージ(胎児・幼児期から高齢期まで)ごとの健康課題に対する相談体制の充実など積極的に健康づくりや一次予防対策に取り組みます。	健康課	赤ちゃん訪問での全戸訪問、離乳食教室を実施し、育児の相談や指導をしています。離乳食教室は開催回数を増やして実施していきます。	B
(2) 地域ぐるみの健康づくりの推進	◇ 町民が地域で主体的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進します。	健康課	ランチルーム活用事業を継続実施します。	B
	◇ 健康や生活習慣に関わる様々な関係者・関係団体がそれぞれの特性を生かしながら地域での健康づくりを支援します。	健康課	食生活改善推進員や健康づくりリーダーの活動支援を継続していきます。	A
	◇ 地域での健康づくりを推進するボランティアの活動を支援します。	健康課	食生活改善推進員の知識・技術の向上のための研修会と2年毎に養成講座を実施しています。今後も継続していきます。	A
(3) 予防対策の充実及び長寿社会に対応した保健体制の確立	◇ 乳がん自己検査法や子宮頸がん予防ワクチンを始め、がん予防に関する正しい知識の普及に努めます。	健康課	検診受診者に乳がん自己検査法の用紙を配布し、思春期講演会にて性感染症予防の啓発を実施しています。今後も継続実施します。	B
	◇ がん検診の受診を促進し、早期発見・早期治療を支援します。	健康課	40歳以上の住民へのがん検診に係る個別通知、がん検診推奨チラシの全戸配布、女性特有のがん検診での無料クーポン券の郵送及び集団がん検診での託児を実施し受診者数が増加しました。今後も継続実施します。	A
	◇ メタボ予防健診の受診を促進し、結果に応じて生活習慣の改善や悪化を防ぐための援助をします。	健康課	メタボ予防健診では託児を実施し、受診者数が増加しました。面接で健診結果の返却と保健指導を実施しました。今後も継続します。	A
	◇ うつ病を予防するため、事業所などと連携して、メンタルヘルスに関する取組みを促進します。	健康課	毎週月曜日に「からだこころの健康相談」を実施し、また、集団がん検診の時に啓発物品の配布と集団特定健診でこのアンケートを実施しています。今後は、各事業所などに啓発物品の配布を依頼し、より広く啓発していきます。	C
(4) 感染症予防の推進	◇ 予防接種に関する正しい知識の普及を図り、接種率の向上に努めます。	健康課	赤ちゃん訪問や乳幼児健診で予防接種についての相談指導を実施し、未接種者には勧奨通知を発送しました。今後、新しく定期化される予定の予防接種への対応をしていきます。	A
	◇ 感染症予防についての正確な情報提供と意識啓発に努めます。	健康課	妊娠を希望または予定している女性に対しての風しん予防接種については、婚姻届を提出した人に案内チラシを配布し周知しました。	A
(5) 食育の推進	◇ 健康づくりセンターや児童館等において食育事業を実施し、子どもの成長過程における食生活や食習慣の大切さについて啓発します。	こども課 健康課	児童館で季節に合った食育活動を行い、食生活や食習慣の大切さについて啓発をしました。今後もこれらの取組みを継続します。 ランチルームで料理教室を開催し、食生活改善推進員の協力のもと、全児童館で食育講座を実施しました。今後も継続実施していきます。	A B
	◇ 保育課程における食育計画に基づき、食に対する関心が高まるようにします。	こども課	各保育園ごとで季節や年齢に合わせた食育活動を行い、食生活や食習慣の大切さについて啓発をしました。今後もこれらの取組みを継続します。	A
	◇ 学校給食を活用した食に関する指導を実施し、学校における食育の推進を図ります。また、給食への地場産物の活用を推進します。	給食センター	各学年の教科と関連付けた栄養指導を全校、全クラスで実施していますが、日程的に困難な部分があります。今後は、担任との日程調整をより密に行い、事前打ち合わせを充実させる必要があります。地場産物の活用については、①東郷町産又は愛知県産の食材であり、②食数(約4,800食)を確保でき、③市場価格と比べ着しく高価ではなく、④給食として提供することに適している等の条件があり、農協や地元農家等と連携し行う必要があります。	B
	◇ 「早寝・早起き・朝ごはん運動」を積極的に推進します。	学校教育課	「早寝・早起き・朝ごはん運動」は継続的に実施中です。今後も積極的に推進していきたいと思っております。	B
	◇ 自然の恩恵に感謝し、食に関わる活動への理解を深めるために、学校等において農作業体験を進めます。	学校教育課	「総合的な学習の時間」「生活科」「特別活動」等を通して、学校の現状に合わせて、農業体験を進めています。また、道徳等において、自然の恩恵に感謝する気持ちを高めています。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析
満足度	0.28点	重要度	0.83点	要検討分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

2 安心して医療を受けられる体制をつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 夜間や休日の医療体制に満足している町民の割合	%	8.7	14.0	19.0				35.4%	84.1%	土曜日の午後診療の診療者数は年々増加しており、実績値ベースでは効果は出ている。	△
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	11.8								
ii 検診専門医療機関数	件	1	2	3				0.0%	50.0%	民間医療機関もあり、増やす必要性がない。	△
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	1								

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 救急医療体制の充実	◇ 休日急病診療について、情報提供に努めるとともに、救急医療情報システムの活用について周知を図ります。	健康課	救急医療情報システムの機能が十分に発揮するよう、利用方法について、広報等で町民への啓発と理解を求めています。	B
	◇ 第1次救急医療機関を担う休日急病診療所の役割を周知し、適切な受診を促進します。	健康課	平成26年度の患者数は580人であり、前年度と比較し29人増となっている。町民への啓発と理解をより一層深めるため、パンフレット等を作成し、健診等の機会をとりえて啓発します。	B
	◇ 愛知県に対し、第2次救急病院の整備・充実を求めています。	健康課	平成25年4月から、日進おどり病院と旭労災病院が指定病院として稼働しており、この体制を維持していきます。	A
(2) 地域医療の充実	◇ 地域で安心して生活が送れるように福祉関係者と協力して、支援します。	東郷診療所	愛厚ホーム東郷苑の管理医及び東郷町社会福祉協議会に対する医療業務受託を通じ今後も福祉関係機関との協力体制を継続していきます。	A
	◇ 多様化する医療需要に対応するため、地域医療機関(周辺市医療機関を含む。)と連携強化を図ります。	東郷診療所	豊明市の藤田保健衛生大学病院を始め、周辺市の医療機関との連携・協力体制を継続していきます。	A
	◇ 高齢社会の到来による在宅医療及び介護の需要に対応するため、地域医療機関との連携により訪問看護の充実を図ります。	東郷診療所	東郷診療所以外でも藤田保健衛生大学病院を始めとした医療機関に働きかけを行い、訪問看護ステーションの対象者増加に努めています。	A
(3) かかりつけ医制度の推進	◇ かかりつけ医を持つことで、気軽に健康相談や生活指導が受けられ、病気の重症化や慢性化を防ぐことができることを啓発するとともに、かかりつけ医の紹介を行います。	東郷診療所	一医療機関としてかかりつけ医の役割は果たしています。ただし、一医療機関が他の医療機関をかかりつけ医として紹介することは、基本的にありません。	D

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.37点	重要度	1.24点

総合分析
重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

3 誰もが安心して自立した生活ができる社会をつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 障がい者への福祉サービスに満足している町民の割合	%	12.0	17.0	22.0	12.0	17.0	22.0	27.6%	90.1%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	15.3		実績値						
ii 指定相談支援事業相談件数	件	0	245	298	0	245	298	-	150.2%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	368		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 障がい者福祉サービスの充実	◇ 自立支援協議会の充実を図り、個別の支援における工夫や明確になった解決すべき地域の課題を共有し、障がい者福祉サービスの向上につなげます。	福祉課	専門部会のくらし部会、こども部会の中で地域の課題を明確にし、自立支援協議会の全体会議では課題の解決に向けて検討していきます。	B
	◇ 障がい者やその家族の経済的負担の軽減を図るため、各種助成制度を実施します。	福祉課	既存の制度をより幅広く周知し、障がいを持つ人がもれなく制度を活用できるよう支援します。	B
(2) こころのバリアフリー化	◇ 障がい者理解のための講演会や交流会の実施など、障がい者に対する誤解や偏見を是正するための啓発活動を行います。	福祉課	実施しているレクリエーション交流会を継続していきます。	A
	(3) 障がい者の就労機会の拡大	◇ 職業能力の向上のため、障がいの種別や程度に応じた職業指導、職業訓練などを実施します。	福祉課	就労移行支援等のサービスを活用できるように相談支援事業所と連携しながら対象者の相談に乗っていきます。
(4) 利用しやすい公共施設	◇ ハローワークや商工会との連携により、各企業に対し、障がい者の雇用に関する各種助成制度の周知・啓発活動を行います。	福祉課	尾張東部障害者就業・生活支援センター等とも連携し、障がい者雇用の環境を整えていきます。	C
	◇ ノンステップ仕様、フルフラットフロア仕様、乗降時スロープ板装着仕様のバスを導入します。	くらし協働課	今後もノンステップ仕様等のバスの導入を推進していきます。	A
	◇ 情報表示等ユニバーサルデザイン仕様の公共交通システムを導入します。	くらし協働課	今後、バスロケーションシステム等の導入について検討していきます。	B
	◇ 公共施設の新設・改修時には、誰もが使いやすい施設になるようにします。	総務財政課	老朽化に伴い、公共施設を順次改修をしています。平成28年度には、公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等のあり方について中長期的な方針を定めます。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.05点	重要度	0.89点

総合分析
要検討分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

4 社会保障制度を適切に運用する

①「達成度」の評価区分

- ◎:平成32年度目標数値達成
- :平成27年度中間目標達成
- △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成27年	平成32年	平成32年				
i 特定健診受診率	%	25.5	65.0	65.0	81.6%	71.2%	勸奨及びPR不足。	△			
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	46.3								
ii 特定保健指導の実施率	%	42.0	45.0	45.0	-19.0%	75.6%	勸奨及びPR不足。昨年と同じ結果だからという理由で関心が低い。	×			
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	34.0								

②「達成度」の評価区分

- A:十分に達成している
- B:まあまあ達成している
- C:あまり達成していない
- D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 国民健康保険制度の適正な運用	◇ 制度の改正に対応するため、条例改正やシステム修正を的確に行います。	保険医療課	国・県の動向を注視し、適宜条例改正やシステム改修を行います。	A
	◇ 制度を十分に理解してもらうため、広報活動や窓口相談等を充実します。	保険医療課	定期的な広報紙への掲載、窓口での相談業務を行います。	A
	◇ 特定健康診査等を進んで受診できるように環境を整えます。	健康課	対象者への3回の個別通知、ポスター掲示、のぼり旗設置、健康教室開催時の健診勸奨等で周知しています。これらは継続とし、さらなる受診率向上のための方法を検討します。	B
	◇ 戸別訪問、夜間納付相談、納付場所の拡充を検討し、収納率の向上を図ります。	保険医療課	収納課と連携し、収納業務の強化を図ります。	B
(2) 介護保険制度の適正な運用	◇ 介護保険制度は高齢者の安心を支える仕組みであることを理解してもらうために、パンフレットや広報などを活用し制度の周知に努めます。	長寿介護課	高齢者でも読みやすい字のパンフレットを購入します。また、認定受付時等にわかりやすい説明を心がけます。本算定時の通知に制度改正や新規事業等を記載したお知らせを同封します。	B
	◇ 高齢者保健福祉計画に基づき、介護保険施策の推進を図るとともに歳入の確保に努め、健全な介護保険財政の運営に努めます。	長寿介護課	負担金はもとより、補助金の適正な申請、取得により事業を実施します。督促、催告の実施により現年度分保険料を確実に徴収します。また、滞納保険料の休日滞納整理を実施することにより徴収機会を増やします。	B
(3) 後期高齢者医療制度の適正な運用	◇ 制度の周知を図ります。	保険医療課	定期的な広報紙への掲載や案内文の見直しを行います。	A
	◇ 戸別訪問、夜間納付相談、納付場所の拡充を検討し、収納率の向上を図ります。	保険医療課	収納課と連携し、収納業務の強化を図ります。	B
(4) 福祉医療制度の適正な運用	◇ 子ども医療を始めとする福祉医療助成制度の拡充を図ります。	保険医療課	他市町村の動向を注視し、必要に応じ拡充を検討します。	A
	◇ 福祉医療費の助成額の増加が予測されるため、助成制度の適切な運用を図ります。	保険医療課	適正受診の啓発やレセプト確認の強化を図ります。	B
(5) 国民年金業務の適正な運営	◇ 国民年金業務の届出や申請書類等を適切に処理し、事務の適正な運営に努めます。	保険医療課	申請書類を迅速に年金事務所へ進達するよう努めます。	A
	◇ 日本年金機構との協力連携を強化し、窓口や電話による納付・諸手続に関する相談や広報の活用による国民年金制度の周知に努めます。	保険医療課	個人情報の取扱いに注意しながら日本年金機構との連携を強化します。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.01点	重要度	0.99点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
継続推進分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

5 福祉サービスを充実するとともに地域との連携を図る

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 高齢者への福祉サービスに満足している町民の割合	%	14.5	20.0	25.0	14.5	20.0	25.0	39.9%	101.4%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	20.3		実績値	20.3					
ii ボランティアセンター登録者数(個人・団体)	人	823	935	1,045	823	935	1,045	-4.4%	84.2%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	787		実績値	787					
iii 介護予防サポーターの各地区での活動箇所数	箇所	0	3	6	0	3	6	-	100.0%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	3		実績値	3					

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 介護サービスの充実	◇ 生きがいのある生活ができるように健康づくりや介護予防の知識の普及・啓発に努めるとともに、介護予防サポーターなどと連携し予防事業を実施します。	長寿介護課	自身の健康づくりや介護予防だけでなく、元気な高齢者が支援する側となるように働きかけを行っていきます。また、総合事業への移行へ伴い、住民主体の集いの場が増えるよう支援し、介護予防サポーター等のボランティアの活動の場も広げていきます。	A
	◇ 認知症サポーターや各地域で活動する団体と連携を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように見守ります。	長寿介護課	引き続き認知症サポーター養成講座や徘徊高齢者捜索模擬訓練などを実施し、地域での見守り・支援体制を強化しています。また、認知症カフェや認知症地域支援推進員など認知症の方本人や家族の支援を強化していきます。	A
(2) 高齢者の社会参加	◇ 高齢者が気楽に集える場を増やし、生きがい活動に対して支援します。	長寿介護課	引き続き、事業のPRを推進し、より多くの地区において事業が実施できるようにし、高齢者の外出を促進していきます。	B
	◇ 高齢者を主体とした異世代交流の場を設けます。	長寿介護課	引き続き、地区老人クラブと保育園や児童館との交流を実施していきます。より多くの地区で実施できるよう老人クラブに対し、働きかけ及び支援をしていきます。	B
	◇ 高齢者の生きがいづくりとして、シンポジウムを開催します。	長寿介護課	老人クラブ連合会が開催する高齢者大学講座が高齢者の生きがいづくりにつながるよう支援していきます。	B
(3) 高齢者の福祉サービスの充実	◇ 地域で支え合うために、見守りや声かけなどのボランティアが活動できる環境を整えます。	長寿介護課	介護保険施設において、ボランティアが活動することによってポイントを付与し、図書券等に還元できる仕組みを構築しました。今後、ボランティアが増加するよう事業のPRに努めます。	B
	◇ 家族介護者のニーズを把握し、福祉施設や福祉サービスの内容を充実します。	長寿介護課	3年に1度、介護者等にアンケート調査を実施し、適切な福祉サービスにつながるよう内容を充実していきます。	A
(4) 地域福祉活動の推進	◇ 町民、福祉団体、関係機関と連携・協力しながら、地域で支え合いのできるまちづくりを推進する体制を確立します。	福祉課	社運運動では、福祉団体や関係機関と連携して活動を実施し、また、文化産業まつりでは民生委員、保護司及び更生保護女性会で福祉のブースを運営しています。	B
	◇ 民生委員児童委員による高齢者等の孤立・孤独への見守り支援など地域に根ざした活動を進めます。	福祉課	高齢者ひとり暮らしの方に対しては、長寿介護課より福祉票が配布され各地区民生委員により、訪問事業を行っております。	B
	◇ 地域ニーズの把握を進め、ボランティア団体の育成・連携を進めていきます。	福祉課	夏休みに中高生を対象に青少年等ボランティア福祉体験学習を実施しています。また、新規の方を対象に入門講座を開催し、登録団体のグループと個人の方には交流会への案内を行っています。	B
	◇ 災害時などの緊急時には、迅速かつ的確な支援が行える体制を整備します。	福祉課	避難行動要支援者名簿等の整備をし、支援者がすみやかに対応できるよう連携を図ります。	B
(5) 地域福祉体制の充実	◇ 地域福祉推進機関である東郷町社会福祉協議会の運営基盤の強化と活動機能の充実を図ります。	福祉課	町は補助金を交付することにより、運営基盤の強化をサポートしています。	A
	◇ 東郷町社会福祉協議会や関係団体等と連携を図り、判断能力の不十分な方の権利擁護に取り組みます。	福祉課	平成12年から県社協で実施していた日常生活自立支援事業を平成27年度より町社協で実施することとなりました。認知症1名、知的障がい2名の方の支援をお手伝いしています。	C

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.05点	重要度	0.99点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
継続推進分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

I 健康で元気に暮らせるまち

6 安心して子育てができる環境をつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 安心して子どもを産み育てられると考える市民の割合	%	29.4	35.0	40.0	29.4	35.0	40.0	50.5%	126.4%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	44.2		実績値						
ii ファミリー・サポート登録者数	人	306	500	600	306	500	600	73.9%	106.4%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	532		実績値						
iii 家庭的保育事業(保育ママの人数)	人	0	3	6	0	3	6	-	0.0%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	0		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 子育て支援の充実	◇ 地域の子育て支援の拠点である児童館、子育て支援センターの充実を図ります。	こども課	各小学校区に児童館を配置しています。平成27年に策定した児童館整備計画に基づき、老朽化した児童館を順次改修していきます。	B
	◇ 子どもの発達や子育ての不安を解消するため、相談体制の充実を図ります。	こども課	こども家庭相談員や保健師を配置し、子育ての不安解消に努めています。今後も継続します。	A
	◇ 子育て中の家庭をサポートするため、ファミリー・サポート事業の充実・普及に努めます。	こども課	説明会や交流会を開催し事業の普及に努め、会員同士の交流を深めています。今後もホームページ等を活用し普及に努めていきます。	B
(2) 子どもが安全・健全に育つための支援	◇ 子ども同士のコミュニケーションの場、また、次代を担うリーダー育成の場として、子ども会活動を支援し子どもたちの健全な育成を目指します。	こども課	子ども会に対し補助金を交付し、子ども会活動を支援しています。今後も子ども会活動が有益なものとなるよう支援していきます。	B
	◇ 児童虐待の早期発見及び防止と児童問題に対応するため、児童相談所等関係機関との連携体制を強化します。	こども課	要保護児童対策地域協議会を設置し、児童相談所などの関係機関と連携し対応しています。引き続き関係機関との連携強化に努めます。	B
(3) 母子・父子福祉の充実	◇ 母子・父子家庭に対する資金貸付制度などを活用した経済的支援の充実を関係機関へ働きかけるとともに、愛知県等関係機関と連携して母子家庭の就労等の相談に応じます。	こども課	月1回、愛知県から相談員が出張し、相談に応じています。引き続き関係機関と連携し相談体制の強化に努めます。	B
(4) 保育サービスの向上	◇ 働きながら子育てをしている親を支援するため、病気の回復期にある子どもを安心して保育できる場づくりを進めます。	こども課	日進市内のおりど病院にて病児病後児保育事業を委託しており、利用者も増加傾向にあります。引き続き住民への周知に努めます。	A
	◇ 保育園入園希望者の増加に対応するため、家庭的保育事業等の導入を検討します。	こども課	子ども・子育て支援新制度による地域型保育事業の創設に伴い、平成27年5月に小規模保育事業所を開設しました。今後も待機児童の減少に努めていきます。	B
	◇ 子どもの社会性を高めるため、地域とのふれあい交流や保育サービスの充実を努めるとともに、保育士の研修などを実施し、保育サービスの向上を図ります。	こども課	子どもたちの取り巻く環境変化に応じた研修を実施し、保育サービスの向上に努めています。また、地域住民等との関わりの中で人と人との関わり方を重点に保育事業を推進しています。	B
(5) 保育園・幼稚園の施設の整備	◇ 園児の健全な育成を図るため、保育園の施設を整備し、私立幼稚園については、施設整備に対する助成の充実を図ります。	こども課	平成24年に策定した保育所整備計画に基づき、保育所の整備を順次行っています。また、私立幼稚園に対しても経常費の補助を行っており、今後も継続します。	B
	◇ 就学前の教育・保育を一体として捉え、幼稚園と保育園を一元化した施設について検討します。	こども課	平成24年に策定した保育所整備計画において、現公立保育園の移行は行わないこととしましたが、今後も住民ニーズを注視し、必要に応じ検討していきます。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.26点	重要度	1.16点

総合分析
継続推進分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る

①「達成度」の評価区分

- ◎:平成32年度目標数値達成
- :平成27年度中間目標達成
- △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成27年度末	平成32年度				
i 小中学校の教育内容や教育環境に満足している町民の割合	%	19.3	25.0	30.0			10.5%	85.3%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	21.3							
ii 学校ボランティア登録者数	人	151	240	330			73.5%	109.2%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	262							
iii 中学校不登校生徒割合	%	2.4	1.9	1.7			8.3%	136.8%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	2.6							

②「達成度」の評価区分

- A:十分に達成している
- B:まあまあ達成している
- C:あまり達成していない
- D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 家庭や地域と連携した学校教育の充実	◇ 児童生徒が、学校生活を明るく元気に送れるように、保護者及び地区の協力のもと、地域の人材等を活用し、積極的に学校の教育活動、環境整備などを行う学校ボランティア登録制度を進めます。	学校教育課	保護者及び地区の協力のもと、多くの人にボランティアとして登録いただいています。ただし、PTA等は、自分の子供が卒業すると活動されなくなってしまうケースがあるので、今後は長期的にボランティアとして活動してもらえるよう施策を継続していきたいと考えます。	A
	◇ 各学校は地域や児童生徒の実態や特性を踏まえ、社会活動体験など各学校の創意工夫を生かした教育活動を推進します。	学校教育課	地域や児童生徒の実態や特性を踏まえ、社会活動体験など各学校の創意工夫を生かした教育活動に取り組んでいます。今後も継続していきます。	B
	◇ 「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する上で、重要な役割を担う家庭の教育力を向上するため、家庭教育に関する講座の開催など普及・啓発活動を充実します。	学校教育課	「家庭科」を中心に、家庭教育力を高めたり、外部講師を招いての講座等を行ったりしています。今後も「生きる力」の基礎的な資質や能力を育成する取組を継続していきます。	B
(2) こころとからだの健康教育	◇ 人間性豊かな児童生徒を育成するため、教育活動全般を通して道徳教育を行い、こころの教育の充実を図ります。	学校教育課	道徳の授業だけでなく、学校生活全般に渡り、こころの教育の充実を図っています。今後も継続して取り組んでいきます。	B
	◇ 児童生徒の健康増進、体位、体力の向上を図るとともに、生涯において運動に親しむ資質を育成するため、体育指導の充実と、学校と家庭・地域との連携による食育指導の充実を図ります。	学校教育課	各学校において、健康増進、体力向上等を図るための工夫を行っています。また、食に関する意識を高め、家庭・地域と連携するなど食育指導の充実を図っています。	B
	◇ 学校における児童生徒及び保護者の心配事・教育相談を充実するとともに、不登校児童生徒に対しては、適応指導教室を通じ、自立を促し、集団への適応力を育成します。	学校教育課	心の教育相談員を中学校に5名配置、また県よりスクールカウンセラーが小学校に2名、中学校に3名配置されていて、保護者児童生徒の相談を担当しています。また、適応指導教室では自立を促し、集団への適応力を育成する取組を行っています。	B
(3) 学校教育環境の整備・充実	◇ 施設の長寿命化及びバリアフリー化を目的とし、老朽化した学校施設の整備を計画的に進めます。	学校教育課	施設数が多く、整備に多額な費用がかかることから、着実な財源の確保が重要になります。今後も継続して実施します。	B
	◇ 児童生徒が本に親しむことができるように、学校図書館の電算化及び図書館補助員の配置を行い、学校図書館を充実します。	学校教育課	図書館の電算化には、システム導入の他、既存図書の電算化作業も伴うため、財源の確保を慎重に行う必要があります。今後は綿密な計画を立て導入を検討します。平成27年度より全校に1人ずつ学校図書館司書教諭補助員を配置しており、今後も継続します。	B
	◇ 児童生徒の教育活動に教員が集中できるよう、教員補助員の配置を進めます。	学校教育課	給食配膳員、用務員、学級運営改善対応員、学校生活介助員及び非常勤講師を各校に配置して、教員が教育活動に集中できるよう努めていますので、今後も継続します。今後は養護教諭についても補助員の配置に向けて検討します。	B
(4) 放課後児童対策の実施	◇ 子どもたちに安全・安心な居場所を提供するために学校施設を利用して、学習支援を始め、学年の異なる子ども同士の交流、地域の大人との交流、様々な体験活動などを通じて児童の健全育成を図ります。	生涯学習課	平成27年度から町内全6小学校で放課後子ども教室を実施します。低学年児童の登録率の高さや、体験活動時の参加児童数の増加などから健全育成に寄与していると考えられ、今後も事業を継続します。	A
	◇ 昼間、仕事などの理由により保護者が家庭にいない児童に対し、学校授業終了後、児童館で生活や遊びを指導し、児童の健全育成を図ります。	こども課	各小学校区の児童館で放課後児童クラブを実施しています。生活や遊びの指導をし、児童の健全育成に努めています。	A

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.07点	重要度	1.16点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
継続推進分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する

①「達成度」の評価区分
 ◎：平成32年度目標数値達成
 ○：平成27年度中間目標達成
 △：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 教養講座などの生涯学習の機会に満足している町民の割合	%	13.2	19.0	24.0	13.2	19.0	24.0	19.0%	82.7%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	15.7		実績値	15.7					
ii 地域での生涯学習講座の開催数	地区	0	5	10	0	5	10	-	160.0%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	8		実績値	8					
iii 60歳以上の講師登録者数	人	50	60	70	50	60	70	22.0%	101.7%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	61		実績値	61					
iv 生涯学習講座の受講者数(1講座当たりの受講者数)	人	16	20	25	16	20	25	-37.5%	50.0%	開講する講座の性質により定員が異なるため、充足率(参加者/定員)への目標値の変更を検討されたい	×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	10		実績値	10					

②「達成度」の評価区分
 A：十分に達成している
 B：まあまあ達成している
 C：あまり達成していない
 D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 参加しやすい講座の開催	◇ 町民ニーズを把握し、老若男女誰もが参加意欲が持てるような講座を開講します。	生涯学習課	生涯学習講座は高齢女性、TOGO大学講座は高齢男性の参加が多い傾向にあるため、どの講座も老若男女誰もが参加意欲を持てるよう、テーマの設定、PR方法等を検討します。	B
	◇ 町民ニーズにあった講座が開催できるように、登録講師数を増やします。	生涯学習課	生涯学習情報誌ジョイフル春号とHPで講師登録を呼びかけており、コンスタントに登録があります。しかし、過去の登録については情報の確認を行っていないため、定期的に情報の確認をする必要があります。	B
	◇ 魅力ある生涯学習に出会うきっかけづくりとして、初心者向けの講座を積極的に開講します。	生涯学習課	継続的に開催している「英会話講座」と青少年向けの「ミュージッククラス」以外は、半期ごとに初心者向けの講座を企画し、サークル活動等に発展させています。今後も生涯学習のきっかけづくりとして、初心者に参加していただける講座を企画します。	A
(2) 地域で活躍できる環境づくり	◇ 現役時代に得た経験やノウハウを講師として活用できるように、シニアを対象とした講師養成講座を開催します。	生涯学習課	「郷土資料館ボランティア養成講座」を開催し、5名の参加がありました。対象をシニアに限定した講師養成講座の継続的な開催は困難ですが、多岐にわたる分野での講座を開催する中で、シニアのノウハウの発掘につなげていきます。	D
(3) 多様な生涯学習講座の開催	◇ 地域のコミュニティセンターなどに出向き、出張講座などを開催します。	生涯学習課	「まちの出前講座」における開催実績はこれまでありませんが、平成27年度中に「東郷町の文化財について」の講座を開催予定です。今後も魅力ある講座を検討し、開催につなげるようPRします。	D
	◇ 地域からの要望により、講座の講師派遣や運営をサポートします。	生涯学習課	住民の要望により、講師登録のある講師を紹介しています。また、自治会が新規に開催する講座へ講師料を支援したり、自治会が行う講座へ町民会館備品の貸し出しもできますが、利用が少ないため、PRしていきます。	C
(4) こころの豊かさを育てる機会の充実	◇ 町民ニーズを把握し、優れた文化芸術に直接ふれあうことができるように、文化芸術事業の充実を図ります。	生涯学習課	社会教育委員会で町民ニーズの把握に努めています。今後も多くの町民が文化芸術にふれあうことができるよう、幅広い世代に魅力ある事業を企画します。	A
	◇ 様々な知識や情報に接することができるように、図書館の蔵書や資料の充実を図ります。	生涯学習課	公共図書館として幅広い選書を行い、絵本・紙芝居等子育て支援関係の蔵書の充実にも取り組んでいます。また、障がい等で図書館に来ることができない方へ宅配サービスを実施しており、あらゆる方がこころの豊かさを育てられるよう事業を継続していきます。	A

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.03点	重要度	0.61点

総合分析
要検討分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む

①「達成度」の評価区分
 ◎：平成32年度目標数値達成
 ○：平成27年度中間目標達成
 △：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 文化財の継承・保存に満足している町民の割合	%	12.4	18.0	23.0	12.4	18.0	23.0	2.4%	70.5%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	12.7		実績値						
ii 町内文化財数	件	25	26	27	25	26	27	0.0%	96.2%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	25		実績値						
iii 文化財めぐり講座の参加人数	人	25	30	30	25	30	30	-52.0%	40.0%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	12		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A：十分に達成している
 B：まあまあ達成している
 C：あまり達成していない
 D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 郷土資料館の充実	◇ 展示物と展示方法の検証を行い、文化財に対する町民の関心を高めます。	生涯学習課	寄贈品を適宜受け入れ、展示物と展示方法の検証をしています。町民の関心を高めるようなPRを継続していきます。	A
(2) 文化財保護意識の高揚	◇ 無形文化財や民俗文化財を後世に伝えるための発表会を企画します。	生涯学習課	各伝統文化子ども教室で学んだ子どもたちが一堂に会する伝統文化発表会を開催しています。引き続き発表会を開催します。	A
(3) 文化財の保存と継承	◇ 郷土資料館で、常設展示と企画展示を開催し、身近に郷土の歴史や文化などに親しめる機会を増やします。	生涯学習課	常設展示のガイドツアーを開催し、郷土の歴史や文化に親しめる機会を幅広い世代に提供しています。一方、人材の不足により企画展示に時間が割けないのが現状です。	C
	◇ 地区と協力し、町内に眠る文化財の発見及び保存に努め、無形文化財の継承を行います。	生涯学習課	無形民俗文化財保存団体3団体へ補助金や太鼓修繕費を交付し、継承を支援しています。 新たな文化財の発見には、文化財保護委員だけでなく地区の方の協力を呼び掛けていく必要があります。	C
(4) 文化団体の活動促進	◇ 本町の地域文化の振興を図るため、文化団体の活動を支援します。	生涯学習課	文化協会、東郷音頭保存会等へ補助金を交付し、活動を支援しています。また、適宜団体の相談に応じ、助言しています。 引き続き、文化団体と未来を担う子どもたちとの橋渡し等、文化の振興を図り、団体の自主的な活動を促していきます。	A

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.06点	重要度	0.41点

総合分析
要検討分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

II 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える

①「達成度」の評価区分

- ◎:平成32年度目標数値達成
- :平成27年度中間目標達成
- △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 定期的にスポーツ・運動をしている町民の割合	%	34.1	40.0	45.0	34.1	40.0	45.0	7.5%	91.6%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	36.6		実績値						
ii 総合型地域スポーツクラブ種目数	種目	0	1	3	0	1	3	-	600.0%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	6		実績値						
iii 町民レガッタに参加する町内クルー数	クルー	65	75	85	65	75	85	15.4%	100.0%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	75		実績値						

②「達成度」の評価区分

- A:十分に達成している
- B:まあまあ達成している
- C:あまり達成していない
- D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 生涯スポーツの推進	◇レガッタのさらなる普及のため、ボート体験やボート教室などの充実を図ります。	生涯学習課	ボート教室の参加者増員のため、チラシやホームページ上での周知を図ります。また、愛知東郷ボートクラブと連携して、参加者への指導を充実させていきます。	C
	◇子どもから高齢者まで誰もが参加できるイベントを開催します。	生涯学習課	スナッグゴルフなどのニュースポーツの企画を実施し、あらゆる年齢層の方が参加できるよう努めます。	B
	◇生涯を通して気軽にスポーツを楽しめる環境をつくりまします。	生涯学習課	家族体力つくりの日やレクスポの日などで実施するニュースポーツの種目数を増やすことで充実を図ります。	B
(2) 指導者の育成	◇スポーツクラブやその指導者育成のため、研修会や講演会を開催します。	生涯学習課	家族体力つくりの日などで実施されるニュースポーツの振興のため、講習会を開催していきます。	B
(3) 参加しやすい環境づくり	◇家族体力つくりの日やレクスポの日を開催します。	生涯学習課	家族体力つくりの日に大会が開かれる際には、チラシ等で児童や地区住民に周知していきます。	A

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.08点	重要度	0.51点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
要検討分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する

①「達成度」の評価区分

- ◎:平成32年度目標数値達成
- :平成27年度中間目標達成
- △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
- ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 地域の行事やお祭りに参加している町民の割合	%	29.8	35.0	40.0	29.8	35.0	40.0	17.7%	100.2%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	35.1		実績値	35.1					
ii 地域で共に助け合い、支え合う風土があると考えられる町民の割合	%	23.1	29.0	34.0	23.1	29.0	34.0	26.4%	100.6%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	29.2		実績値	29.2					
iii 文化産業まつり来場者数	人	18,000	19,000	20,000	18,000	19,000	20,000	-33.3%	63.2%	天候により来場者数は左右されるが、行政主体のやり方では限界があるため。	×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	12,000		実績値	12,000					

②「達成度」の評価区分

- A:十分に達成している
- B:まあまあ達成している
- C:あまり達成していない
- D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) コミュニティ活動の推進と活性化	◇ 各地区にコミュニティ広報誌を作成してもらうように働きかけます。	安全安心課	今後もコミュニティ活性化事業補助金にてコミュニティ広報誌作成を支援します。	B
	◇ コミュニティ活動に対して支援します。	安全安心課	今後もコミュニティ活動に対し、補助を支払い、コミュニティ活動の活性化を支援します。	B
	◇ 各地区お互いに刺激し合えるよう、活動事例集を作成します。	安全安心課	他地区の参考となるような活動の聞き取りを行います。	C
(2) コミュニティ施設の充実	◇ コミュニティ施設の整備に対して支援します。	安全安心課	今後もコミュニティセンター等の建設や改修等に対し、補助金を交付します。	A
(3) 町民相互の絆を深める	◇ 町民が参加しやすくなるような魅力あるお祭りを実施します。	産業振興課	行政主体で文化産業まつりを実施しているため、商工部、農産部、文化部、本部それぞれが主体となって魅力ある祭りを実施していけるよう、今後は実行委員会の実施運営にしていける必要があります。	B
		生涯学習課	納涼まつりにおいて、打ち上げ花火に替わる魅力あるイベントを企画します。	B
	◇ 町民と行政の協働による各種イベントを充実するとともに、町民主体のイベントに対して支援します。	産業振興課	行政主体で文化産業まつりを実施しているため、商工部、農産部、文化部、本部それぞれが主体となって魅力ある祭りを実施していけるよう、今後は実行委員会の実施運営にしていける必要があります。	C
		生涯学習課	音楽祭inTOGO、伝統文化発表会、映画「じんじん」上映会等を実行委員会形式で町民が主体となり開催しました。引き続き、町民主体のイベントを支援していきます。	A
	◇ 区・自治会が子ども会、老人クラブなど各種団体を巻き込んで、地区町民の交流を促進します。	安全安心課	今後もコミュニティ活動に対し、補助を支払い、コミュニティ活動の活性化を支援します。	C

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.03点	重要度	0.61点

総合分析
要検討分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

6 多文化の人々が共生できる社会をつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成27年	平成32年				
i 国際理解・国際交流の推進に満足している町民の割合	%	4.9	10.0	15.0	平成27年度	平成32年度	22.9%	60.2%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	6.0							
ii 日本語教室の参加者数	人	35	46	60	平成27年度	平成32年度	17.1%	89.1%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	41.0							
iii 外国人支援ボランティア活動者数	人	4	6	9	平成27年度	平成32年度	-	0.0%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	0							

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 多文化共生の推進	◇ 多文化の人々が共生できるように、異文化理解を推進します。	くらし協働課	東郷町国際交流協会と協働して、外国人と日本人が集うイベントを今後も開催し、異文化理解の推進を図ります。	B
	◇ 多文化共生ビジョンを作成し、多文化共生の意義や必要性の周知を図ります。	くらし協働課	イベント等を通じ、多文化共生の意義や必要性の周知を図ります。	B
(2) 日本語学習支援等の環境づくり	◇ 日本語学習や日本の生活習慣・文化に対する理解を進めます。	くらし協働課	東郷町国際交流協会への委託事業「日本語教室」を今後も開講します。	B
	◇ 多言語により情報を提供します。	くらし協働課	役場通訳を活用して広報・HPを始め、町の広報物を多言語により提供します。	A
(3) 国際交流の推進	◇ 国際化の推進役となる人材を育成します。	くらし協働課	東郷町国際交流協会の中から、今後の国際化の推進を担う人材を確保します。	B
	◇ 国際交流団体を育成し、国際交流活動を支援します。	くらし協働課	東郷町国際交流協会の活動を今後も支援します。	A
(4) 国際化教育の充実	◇ 国際化の進展に伴い、国際理解教育を推進します。	くらし協働課	東郷町国際交流協会と協働して、国際理解推進事業を今後も開催します。	B
	◇ 新たに転入した外国籍の児童生徒及びその保護者への言葉の支援のため、外国籍通訳者(主にポルトガル語)を学校に派遣します。	学校教育課	町からは外国籍通訳者は派遣していません。県からは語学相談員(ポルトガル語・フィリピン語)を派遣してもらい、日本語の指導、生活適応相談、文書の翻訳等を行っています。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.1点	重要度	0.36点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅱ 次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が活発なまち

7 青少年の健全な育成を進める

①「達成度」の評価区分
 ◎：平成32年度目標数値達成
 ○：平成27年度中間目標達成
 △：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 青少年の健全育成に満足している町民の割合	%	10.3	16.0	21.0				10.6%	71.2%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	11.4								
ii 地区と行政が合同で行う青少年健全育成活動 地区数	地区	0	3	6				-	0.0%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	0								

②「達成度」の評価区分
 A：十分に達成している
 B：まあまあ達成している
 C：あまり達成していない
 D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 地域と行政が一体となった青少年健全育成活動	◇ あいさつ運動や啓発活動など地域と町が合同で事業を行い、青少年が健やかに育つ環境を整備します。	生涯学習課	現在、地域と町が合同で行っている事業はありません。各地区で実情に応じ独自性のある事業を行っていただいているため、町としては助言や協力という形で環境の整備をしていきたいと考えています。	D
	◇ 青少年が健全に育ち社会に貢献できるように、各地区の青少年健全育成団体の活動を推進します。	生涯学習課	各地区に補助金を交付し、青少年健全育成活動を支援しました。今後も支援を継続していきます。	A
(2) 青少年に対する町民意識の向上	◇ 11月の「青少年健全育成強調月間」に合わせて全地区でイベントや活動を行い、町民の意識を高めます。	生涯学習課	地区にのぼり等の啓発資材を配布し、各地区で啓発活動を行いました。また、地区によっては青少年の参加するグラウンドゴルフ大会等の事業を行いました。今後も11月は全町を挙げて青少年健全育成の意識形成に努めます。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.02点	重要度	0.86点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
要検討分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

1 まちづくりに参加できる仕組みをつくり、協働のまちづくりを進める

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i ボランティアやNPOの活動が活発に行われていると考える町民の割合	%	9.8	15.0	20.0	9.8	15.0	20.0	33.6%	87.3%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	13.1		実績値						
ii 区・自治会加入率	%	77.0	79.0	81.0	77.0	79.0	81.0	-3.9%	93.7%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	74.0		実績値						
iii NPO公募提案型事業応募団体数	団体	2	4	4	2	4	4	-50.0%	25.0%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	1		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 行政への町民参画機会の拡充	◇ 町民自らが、まちづくりの主役であることを認識し、職員については意識改革を図るなど、町民と行政の双方の協働意識の醸成を図ります。	企画情報課	自治基本条例の主旨について、町民及び職員に周知する取り組みを継続します。 自治基本条例は、平成31年1月までに見直しを実施します。	B
		くらし協働課	町民に対しては、まちの出前講座やNPO公募提案型事業等を活用することにより、町民参画意識の醸成を図ります。職員に対しては、「NPOと行政の協働」に関する職員研修を実施し、職員の意識改革を図ります。	B
	◇ 町民と行政との対等性や透明性を確保しながら、協働関係が構築できるよう、広報紙、インターネット等様々な方法を活用し、行政の情報を町民目線に立ってわかりやすく、迅速に公開・提供し、情報の共有化を推進します。	人事秘書課	広報紙のクローズアップまちづくりの特集記事等で行政情報を、分かりやすい表現で周知しています。 また、CMSの活用で、各課がタイムリーに行政情報を発信できるような仕組みとしています。 平成27年度からは、行政広報番組の制作を開始し、ケーブルテレビと町ホームページ等で配信しています。	B
	◇ 町民と行政が情報交換、意見交換を行い、相互理解に努めます。	企画情報課	パブリックコメント等、町民の意見を取り入れる機会の確保に努めます。また、町民・行政の意見交換の場づくりについて研究します。	B
	◇ 委員会や懇談会への町民参加を呼びかけ、町民と行政が語り合う機会を一層増やします。	企画情報課	自治基本条例に基づき、各部署で町民参画を求める機会があれば積極的に取り入れるよう働きかけます。	C
	◇ 町民、事業者、行政など、主体ごとに役割と責務を明らかにするなど、まちづくりを進める上での考え方や実現していくための“しくみ”を定めた自治体の基本ルールを町民参加でつくります。	企画情報課	平成26年1月1日に、東郷町自治基本条例が施行されました。	A
	◇ 町民と行政が対等な立場で協働に当たるよう、町民と行政が支え合う協働のルールづくりを行います。	くらし協働課	NPO公募提案型事業を活用し、町民が行政と協働でまちづくりに参画できるよう今後も事業を実施します。	B
(2) 町民活動の支援	◇ 町民が自ら学び、活動する拠点として町民活動センターなどの活用を推進します。	くらし協働課	今後も町内の町民活動団体等に対して町民活動センターの活用を促します。	A
	◇ 町民が自主的に意見交換したり、交流する場を提供します。	くらし協働課	町民が会議・打合せする場として、町民活動センターの活用を促します。	A
	◇ 社会参加活動が活性化するように、活動を支援します。	くらし協働課	まちの出前講座、NPO公募提案型事業等で行政との協働を促進し、社会参加活動を支援します。	B
	◇ 町民活動団体、ボランティア団体等のネットワークを形成し、交流の場づくりに取り組みます。	くらし協働課	町民活動センターを活用し、町民活動団体に横の繋がりが生まれるよう、交流の場づくりに取り組みます。	B
(3) 区・自治会活動の推進と活性化	◇ 区・自治会への加入を促進するため、区・自治会と町との意見交換に努めます。	安全安心課	今後も各地区に駐在員を配置し、町と自治会との連携を密にします。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.07点	重要度	0.49点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

2 男女それぞれの個性や能力を生かせる社会をつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 男女差別のない社会が考えられていると考える町民の割合	%	28.5	30.0	35.0	28.5	30.0	35.0	3.8%	98.6%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	29.6		実績値						
ii 審議会等への女性登用率	%	24.7	30.0	35.0	24.7	30.0	35.0	22.7%	101.0%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	30.3		実績値						
iii 男女共同参画に関する講座・セミナーなどへの参加者数	人	88	120	176	88	120	176	445.5%	400.0%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	480		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 人権の尊重と男女共同参画を進める意識づくり	◇あらゆる場において、男女共同参画を推進し、男女平等意識を醸成するとともに、男女共同参画を推進する仕組みや体制を確立します。	くらし協働課	男女共同参画社会の実現に向けて、今後も推進事業を開催し、男女共同参画について考える場を提供します。	A
	◇男女平等意識を町民に浸透させるための教育を推進します。	くらし協働課	男女共同参画社会の実現に向けて、今後も推進事業を開催し、男女共同参画について考える場を提供します。	A
	◇暴力の根絶を目指して、男女が共に互いに立場を理解し、尊重し合えるよう意識の向上を図ります。	くらし協働課	H25東郷町男女共同参画プラン(中間見直し)において東郷町DV対策基本計画を策定したことから、本計画に則りDVに対する防止及び被害者支援策の充実を図ります。	A
(2) 男女共同参画を進める環境づくり	◇男女が共同で参画する地域・家庭づくりを推進します。	くらし協働課	月2回、愛知県から相談員が出張し女性相談に応じています。緊急の際はこども課職員にて対応しています。引き続き関係機関と連携し相談体制の強化に努めます。	B
	◇男女平等の就業環境づくりを推進します。	くらし協働課	イーストピア(男女共同参画情報誌)や、男女共同参画情報コーナー等を通じ、ワーク・ライフ・バランスの必要性を引き続き周知します。	A
(3) 計画決定と推進への男女共同参画	◇町民と行政との協働の場においても、男女共同参画を進めるため、町の基本的な政策や計画を策定する際に設置する審議会などに積極的に女性を登用します。	くらし協働課	商工会かわら版等を通じて、男女の職業生活と家庭生活の両立支援(ワーク・ライフ・バランス)を周知させ、企業及び商工会と連携して男女平等の就業環境の整備を図ります。	A
		くらし協働課	町の審議会等における女性委員の登用率が上昇するよう今後も各課に働きかけを行います。	A

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.1点	重要度	0.49点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

3 町民・行政相互の情報共有を推進する

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 広報とうごうを毎号読んでいる町民の割合	%	61.5	67.0	72.0	61.5	67.0	72.0	11.3%	102.2%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	68.5		実績値						
ii 町政に住民の意見が反映されていると考える町民の割合	%	5.5	11.0	16.0	5.5	11.0	16.0	42.8%	71.4%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	7.9		実績値						
iii 町政モニターの人件数	人	未整備	5	10	未整備	5	10	-	0.0%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	0		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 広報紙、町公式ホームページの充実	◇ 広報紙や町公式ホームページの情報のバランスを考えるとともに、未掲載情報を定期的に洗い出し、町民の視点から作成します。	人事秘書課	各課所管事業を広報紙やホームページ(通常コンテンツに加え、とうごうカレンダー、フォトダイアリー等も含む。)に掲載してもらうよう働き掛けます。	B
	◇ 町公式ホームページの多言語化、動画配信、携帯端末用サービス、子ども向けページ、緊急メール、個人向けマイポータル等のサービスの拡大を検討します。	人事秘書課	スマートフォン向け無料アプリ「i 広報紙」を配信済みです。平成27年度には、行政広報番組の制作を開始し、ケーブルテレビと町ホームページ等で配信します。	B
(2) 広聴機会の充実	◇ 町政モニター制度の導入などにより、町民の率直な意見・要望などを的確に把握し、町政に反映します。	人事秘書課	平成27年度から町政モニターを開始しました。	C
	◇ タウンミーティングの開催案内等の周知方法や内容・開催回数・時間等を見直すとともに新たな広聴機会を検討します。	人事秘書課	ICTを活用し、平成27年度より町政モニターからまちづくり等への意見聴取を行っています。	C
	◇ 情報公開制度に基づく情報公開のほか、行政運営情報の自主的な公表に努めます。	総務財政課	選挙公報、予算書及び電子入札案件(工事)の入札結果をHP上へ公表しています。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.12点	重要度	0.71点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

4 効率的な行政運営を進める

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 総合的に役場窓口での対応に満足している町民の割合	%	45.7	51.0	56.0	45.7	51.0	56.0	-15.2%	76.0%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	38.7		実績値	38.7					
ii 事務改善実績報告件数	件	15	25	30	15	25	30	100.0%	120.0%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	30		実績値	30					
iii 住民1,000人当たり職員数	人	6.8	6.5	6.3	6.8	6.5	6.3	-2.9%	101.5%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	6.6		実績値	6.6					

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 行政サービスの向上	◇ 町民にとって利用しやすい行政を目指し、総合窓口の設置を検討します。	企画情報課	正面玄関にコンシェルジュ(役場総合案内人)を設置しているため、今後も継続していきます。	B
	◇ 町民の意見や自治体EAの考え方を取り入れ、ICTを活用した窓口業務の見直しを進めます。	企画情報課	最新のICT技術を採用することで、マイナンバーを安全かつ効果的に活用し、町民が安心して行政サービスを利用できるようにします。	B
	◇ 多様化するニーズに対応するため、窓口開庁時間の延長を検討します。	企画情報課	第1・第3土曜日の午前中に、住民課窓口を一部開設し、住民の利便向上を図っています。今後も継続して実施します。	B
	◇ 「民間でできることは民間へ」の視点に立ち、指定管理者制度やPFI、市場化テストの導入などを積極的に進めます。	企画情報課	一部の公営施設について、指定管理者制度を採り入れました。今後も適合する施設等があれば同制度を採用します。	A
(2) 職員の育成・管理	◇ 人材育成に重点を置いた新たな研修基本方針を策定し、研修を体系化し計画的に実施します。	人事秘書課	平成24年3月に東郷町人材育成基本方針を改訂し、計画的な研修を実施しているため、今後も継続して実施します。	A
	◇ 組織の若返りに伴う経験不足を補うとともに、職員一人ひとりの業務に対する意識や能力を向上させるための人材育成制度を確立します。	人事秘書課	管理者若しくは近く管理者になることが想定される職員に対し、マネジメント関連の研修を特に重点的に実施しており、波及的に職員全体の意識改革が進んでいるため、今後も継続して進めていきます。	A
(3) 行政組織の適正化	◇ 的確な事務量把握に努め、適正な人員配置を行います。	人事秘書課	平成24年3月策定の第5次東郷町定員適正化計画に従い、今後も適正な人員配置を進めていきます。	B
	◇ 事務の効率化を図り、地方分権や高度化・多様化する行政需要に的確に対応できる柔軟で機動力にある組織・機構の編成に努めます。	企画情報課	毎年組織機構の見直しを行っています。今後も世間の動向に注視しながら適宜見直しを行います。	A
(4) 行政評価の充実	◇ 総合計画の施策レベルでの評価を検討するとともに事務事業評価以外の外部評価を導入し、成果重視の行政を進めます。	企画情報課	行政評価として、事務レベルの評価を実施しています。また、外部評価についても実施しました。今後は、より質の高い評価ができるよう、研究を進めます。	A
	◇ 行政評価の結果を予算的に的確に反映します。	総務財政課	平成28年度当初予算編成から予算査定時に前々年度決算の行政評価で見直すとした内容の反映について確認するよう予算編成方針に明記しています。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

総合的にみた役場窓口の対応

項目	点数	項目	点数
満足度	0.3点	重要度	0.88点

効率的な行政運営

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.21点	重要度	0.94点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
要検討分野

総合分析
重点改善分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

5 広域連携の強化を進める

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野で、新たに連携が行われた件数	件	4	5	5	-50.0%	40.0%	「新たに」連携をした件数であるため、当初の現況値は0とする方が妥当である。	×			
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	2								
ii コミュニティバスを乗り入れている市の数	市	2	4	4	0.0%	50.0%		△			
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	2								

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 一部事務組合の効率的な運営	◇ 町民サービスの向上と町民の利便性を確保するため、関係市との連携を密にして、一部事務組合の効果的、効率的な管理運営に努めます。	安全安心課	尾三消防組合:管内市町の人口は年々増加しており、さらに消防体制の強化が望まれている。今後は、豊明市との消防広域化に向けて、日進市、みよし市と協議、調整を進めていきます。	B
		環境課	①日東衛生組合:し尿処理については、減少傾向にありますが、浄化槽汚泥は無くなることはありませんので、し尿処理施設は必要な施設になりますので、今後も日進市と協議し継続して進めていきます。 ②尾三衛生組合:各市町の人口の増加により、ごみ焼却量は増加しています。今後ごみ処理施設は必要な施設になりますので、今後も日進市とみよし市と協議し継続して進めていきます。	A
		下水道課	愛知中部水道企業団:一部事務組合、関係市町が参集される会議等を活用し、一部事務組合の効果的、効率的な事業の管理運営の実施を働きかけます。	A
	◇ 現在の一部事務組合の事務の共同化や新たな一部事務組合の必要性などについて検討・研究します。	企画情報課	議員研修の共通化を実施しました。 また、尾三消防組合と豊明市消防組合との統合に向けて協議を進めます。	B
(2) 公共交通機関の広域的な連携	◇ 利用しやすいコミュニティバスとするため、コミュニティバスの市町間相互乗り入れについて検討・研究します。	くらし協働課	今後も近隣市のコミュニティバスの相互乗り入れについて検討・研究していきます。	B
	◇ 法定協議会を活用し、広域的な交通手段の充実を図ります。	くらし協働課	今後も東郷町地域公共交通会議を活用し、公共交通ネットワークの充実を図ります。	A
(3) 広域的な連携による町民サービスの向上と行政運営の効率化	◇ 町民サービスの安定供給やサービスの向上のため、行政機関の共同設置や一部事務組合拡大設置を検討するとともに、救急医療体制の強化を始め、公共施設利用の共有化や火葬場の利用など、効率的な行背運営の観点からも、新たな広域連携を検討します。	企画情報課	新たな広域連携を進めるため、日進市・豊明市・みよし市とともに、「尾三地区自治体間連携推進会議」を立ち上げ、広域課題について研究を進めています。 また、名古屋市緑区・天白区とも交流を始めています。	A

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.3点	重要度	0.87点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

Ⅲ 参画と協働で自立するまち

6 財政の健全化を進める

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 健全な財政運営に満足している町民の割合	%	7.1	13.0	18.0	7.1	13.0	18.0	23.5%	67.5%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	8.8		実績値						
ii 実質公債費比率	%	8.1	7.5	7.0	8.1	7.5	7.0	-51.9%	52.0%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	3.9		実績値						
iii 財政調整基金の残高	億円	6.7	10.0	15.0	6.7	10.0	15.0	68.7%	113.0%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	11.3		実績値						
iv 収納率(町税全体)	%	93.8	94.3	95.0	93.8	94.3	95.0	3.7%	103.2%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	97.3		実績値						
v 経常収支比率	%	89.5	85.0	80.0	89.5	85.0	80.0	1.8%	107.2%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	91.1		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 自主財源の確保	◇ 広報・ホームページなどによる税情報のPRに努めます。	税務課	広報・ホームページなどに税に関する情報を掲載することで、住民への周知の役割を果たしているため、今後も継続します。	A
	◇ 町税等における納期内の納税率向上を目指し、納税啓発に努め、効率的な催告手法を導入します。	収納課	夜間休日納税相談を年4回実施し、納税相談や納付ができる機会を引き続き設けます。また、愛知県豊田尾張東部地方税滞納整理機構に参加し、最新の収納技術の習得、向上に努めます。	A
	◇ 公共施設の利用料金の見直しによる受益者負担の適正化を図ります。	生涯学習課	実施済みです。	A
	◇ 工場誘致に向けて、情報発信、優遇措置等を検討します。	産業振興課	今後も支援制度を紹介するなど積極的に企業誘致に努めるとともに、現状の組織体系を見直し窓口を一本化するなど相談しやすい環境づくりに努めます。	B
	◇ 子育て支援施策、雇用施策などと連携しながら、定住人口の安定化を図ります。	企画情報課	人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に取り組み、今後の人口動向及び戦略について方向性を示します。	B
(2) 総合計画や行政評価と連動した予算編成	◇ 現在の枠配当予算の方式を検証し、より効果的な方法を検討します。	総務財政課	収入確保に対する配当や事業見直しに対する配当など担当部局の機動性をより確保する見直しを平成28年度予算編成より行いました。	A
	◇ 行政評価や実施計画との連動のもとに、選択と集中による戦略的な予算編成を行います。	総務財政課	予算要求時に行政評価の見直し内容を踏まえることを予算編成方針に明記し、実施計画事業の査定を中長期の財政見通しを踏まえて行うことで組織横断的な連携のとれた予算編成を行いました。	A
(3) 町有施設の長寿命化	◇ 学校や保育園園舎を始めとする既存施設等の老朽化に対応するため、限られた予算の中で、町有施設を有効利用するため長寿命化計画を作成します。	総務財政課	一部インフラ施設では長寿命化の改修に着手しています。その他の公共施設についても順次改修計画等を作成し、優先順位を付けて改修等を実施していきます。	C

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.3点	重要度	1.22点

総合分析
重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 消防や救急の体制に満足している町民の割合	%	30.0	35.0	40.0	30.0	35.0	40.0	40.1%	120.0%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	42.0		実績値						
ii 耐震性貯水槽設置数	箇所	20	23	25	20	23	25	5.0%	91.3%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	21.0		実績値						
iii 住宅用火災警報器の設置率	%	70.0	98.0	99.0	70.0	98.0	99.0	4.4%	74.6%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	73.1		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 消防・救急体制の強化	◇ 尾三消防組合に対し、災害・消防・救急時の出動態勢等の機能強化を要請します。	安全安心課	引き続き尾三消防組合に対し、出動態勢の強化を要請します。	A
	◇ 町が設置したAEDを適正に使用できるように、普通救命講習の受講を進めます。	安全安心課	今後も町職員の普通救命講習の受講を進めていきます。	B
	◇ 住宅用火災警報器の設置を呼びかけるとともに、防災訓練の強化により防火意識の向上に努めます。	安全安心課	今後も町ホームページ及び地区防災訓練で設置を呼びかけます。	B
	◇ 緊急車両の進入が困難な狭小道路の洗い出しを進めます。	安全安心課	狭小道路の洗い出しを検討します。	D
(2) 消防団員の資質向上	◇ 消防団員、女性防災クラブ員が活動しやすいように待遇改善に努めます。	安全安心課	平成26年4月から消防団員の報酬を見直し、待遇改善に努めました。	B
	◇ 尾三消防組合東郷消防署指導のもと、火災時に迅速な活動ができるように努めます。	安全安心課	東郷消防署職員の指導により、各種訓練を実施し、資質向上に努めます。	A
	◇ 消防団の資機材の適切な運用、整備に努めます。	安全安心課	老朽化した資機材を更新し、適切な資機材の運用に努めます。	A
	◇ 消防団の活動をPRし、団員の確保に努めます。	安全安心課	平成26年4月から機能別消防団員の募集を開始するとともに、「ありがとう消防団応援事業」を開始し、消防団のPRに努めました。今後も継続します。	A
(3) 消防施設の強化	◇ 老朽化が著しい消防団詰所の改修または建て替えを進めます。	安全安心課	消防団詰所の改修及び建て替えについて優先順位を決め、実施を検討します。	D
	◇ 耐震性貯水槽の新設及び既設無蓋防火水槽の有蓋化に努めます。	安全安心課	補助金を利用し、耐震性貯水槽の新設を進めます。	C
	◇ 消防水利の整備を推進します。	安全安心課	消防水利の新設及び改修を計画的に実施します。	C

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.48点	重要度	1.35点

総合分析
継続推進分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

2 犯罪や交通事故の少ない安全なまちをつくる

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値		増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成27年度末	平成32年度				
i 防犯対策に満足している町民の割合	%	28.1	34.0	39.0			-10.1%	74.3%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	25.3							
ii 交通安全対策に満足している町民の割合	%	19.7	25.0	30.0			10.3%	86.9%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	21.7							
iii 普段から防犯に心がけている町民の割合	%	63.9	69.0	74.0			3.4%	95.8%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	66.1							
iv 人口100人当たり交通事故(人身事故)件数	件	0.72	0.57	0.47			-16.7%	105.3%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	0.6							

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 警察・行政・地区・学校などの連携体制の強化	◇ 不審者等の情報を地域・学校などで共有し、パトロールや広報活動を実施するなど、地域の防犯意識の向上に努めます。	安全安心課	今後も地域安心メール登録者に対し、不審者情報を通知するなど、情報の共有に努めます。また、同様に平日の青色回転灯パトロール車によるパトロールを引き続き行います。	B
	◇ 自主防犯団体の活動を支援します。	安全安心課	今後も備品の提供や青色回転灯パトロール車講習を行うなどして自主防犯団体の活動を支援します。	C
	◇ 交通違反者に対する指導及び取締りの強化について、警察に要請します。	安全安心課	今後も地区からの要望等により、警察に交通違反者への指導及び取締りの強化を要請していきます。	B
(2) 防犯灯などの充実	◇ 安全で住みよいまちをつくるため、防犯灯の点検に努めます。	安全安心課	寿命の長いLED防犯灯に取替えます。	A
	◇ 安全な環境を確保し、犯罪を未然に防ぐため、防犯灯整備が不十分な地域について、順次整備するよう努めます。	安全安心課	今後も毎年地区からの要望等により、防犯灯を増設します。	B
(3) 交通安全町民意識の向上	◇ 高齢者ドライバーの増加、飲酒運転や無謀運転など規範意識が低下しているため、交通安全啓発活動を推進し、自己の未然防止に努めます。	安全安心課	今後も交通安全教室や啓発イベントを通じて、交通安全を呼び掛けていきます。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

防犯対策

項目	点数	項目	点数
満足度	0.08点	重要度	1.36点

交通安全対策

項目	点数	項目	点数
満足度	0点	重要度	1.25点

※満足度及び重要度は加重平均点

総合分析
継続推進分野

総合分析
継続推進分野

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

3 災害に強いまちをつくる

① 目標指標の達成状況

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年度	平成32年度	平成23年度	平成27年度	平成32年度				
i 地震や風水害などの防災対策に満足している町民の割合	%	10.2	16.0	21.0	10.2	16.0	21.0	39.9%	89.2%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	14.3		実績値						
ii 地震や風水害などの災害に備えている町民の割合	%	35.5	41.0	46.0	35.5	41.0	46.0	24.3%	107.6%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	44.1		実績値						
iii 東郷町防災訓練の実施回数	回/年	0	1	1	0	1	1	-	100.0%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	1.0		実績値						
iv 耐震性のある住宅の割合	%	86.0	90.0	93.0	86.0	90.0	93.0	-5.8%	90.0%	算定方法を変更したため、実績値が策定当初より低くなっています。	×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	81.0		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 安心できる住宅の整備	◇ 宅地の安全性を確保するため、大規模盛土造成地の詳細調査を実施します。	都市計画課	県から大規模盛土造成マップの提供があり、町内の造成該当地区が把握できるようになりましたが、詳細調査の方法や時期については検討できていません。	C
	◇ 耐震診断を促進するため、専門家を派遣し耐震診断を実施します。	都市計画課	耐震診断事業を今後も継続します。国費の補助金が縮小されていく傾向があるため、県費の補助金のみでも事業が継続できるよう予算の検討が必要と思われます。	B
	◇ 木造住宅の耐震改修費用の一部を補助します。	都市計画課	耐震改修事業を今後も継続します。耐震診断事業と同じく、国費補助が縮小されていく傾向があるため予算の見直しが必要と思われます。耐震診断と異なり、改修工事の際の自己負担も大きくなるため、診断後に必ずしも改修に繋がるわけではありません。	B
(2) 防災訓練の実施	◇ 地域防災計画に基づき、地区と職員による合同防災訓練を実施します。	安全安心課	平成26年度から町職員と住民の協働による総合防災訓練を実施しています。	A
	◇ 各区・自治会で避難所開設訓練が実施されるよう支援します。	安全安心課	今後も避難所開設を主眼に置いた総合防災訓練を実施します。	A
	◇ 各種の訓練を通じて、町民の防災意識の向上や自主防災組織の体制強化を図ります。	安全安心課	今後も各地区防災訓練に町職員が参加し、自主防災組織の体制強化に努めます。	B
(3) 災害活動拠点の整備	◇ 町防災倉庫の改修及び避難所への防災倉庫設置を進めます。	安全安心課	平成27年度から学校への防災倉庫設置を進めています。	B
	◇ 災害時のライフラインを確保するため、関係機関と協定を締結します。	安全安心課	関係機関との協定締結について実施を引き続き検討します。	C
	◇ 災害時用備蓄品を計画的に整備します。	安全安心課	今後も災害時用備蓄品を整備します。	A
(4) 災害時伝達手段の整備	◇ 東郷町防災行政無線のデジタル化を実施します。	安全安心課	平成26年度から町防災行政無線をデジタル化に移行しました。	A
	◇ 各避難所や消防団との通信手段の整備に努めます。	安全安心課	平成27年度に消防団へ町防災行政無線移動系を貸与します。	A
	◇ 高度情報通信ネットワークの適切な運用に努め、国や県と情報を共有化します。	安全安心課	被害情報伝達訓練等を通じ、災害時の情報共有のための訓練を実施しています。	B
(5) 河川の治水機能強化と施設の維持管理	◇ 準用河川を始め、排水路の計画的な整備に努めます。	建設課	定期的な準用河川、排水路の浚渫や草刈りにより、整備に努めているところです。今後も継続していきます。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.04点	重要度	1.2点

総合分析
重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

4 安心して消費生活が送れる体制を整える

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値	目標値		増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年				
i 消費者保護対策に満足している町民の割合	%	4.5	10.0	15.0	65.8%	74.6%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	7.5					
ii 消費生活相談実施回数	回/月	2	4	8	100.0%	100.0%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	4					

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 消費者支援の充実	◇ 消費者問題に対する啓発を行うとともに、消費生活講座等を開催します。	くらし協働課	消費者問題に関する啓発を行うとともに、くらしの講座及び消費生活講演会等を実施し消費者への啓発に努めていきます。	A
	◇ 消費生活相談の実施日数を拡大するなど、充実を図ります。	くらし協働課	今後は消費生活相談状況等を確認しながら実施日数の拡大について検討していきます。	A
(2) 消費者活動の支援	◇ 消費者団体の育成を支援します。	くらし協働課	引き続き消費者団体の育成を支援していきます。	A
	◇ 消費者活動への支援を行います。	くらし協働課	引き続き消費者活動への支援を実施していきます。	A

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.06点	重要度	0.74点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

5 人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎：平成32年度目標数値達成
 ○：平成27年度中間目標達成
 △：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 自然環境の保全や創出に満足している町民の割合	%	20.2	26.0	31.0	20.2	26.0	31.0	-20.9%	61.4%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	16.0		実績値	16.0					
ii 公害対策などの環境汚染対策に満足している町民の割合	%	16.3	21.0	27.0	16.3	21.0	27.0	-10.9%	69.2%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	14.5		実績値	14.5					
iii 親水公園数	箇所	2	3	4	2	3	4	0.0%	66.7%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	2		実績値	2					
iv 狂犬病予防注射接種率	%	72.2	76.0	80.0	72.2	76.0	80.0	9.8%	104.3%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	79.3		実績値	79.3					

②「達成度」の評価区分
 A：十分に達成している
 B：まあまあ達成している
 C：あまり達成していない
 D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 水辺環境の保全整備	◇ 愛知池、境川緑地、親水公園を魅力ある水辺環境として整備及び維持管理し、町民の憩いの場とします。	都市計画課	愛知池では平成24年度まで植樹祭を行いました。境川緑地及び親水公園については、今後も草刈りを定期的に行い水辺環境の維持管理を行っていきます。	B
	◇ ため池を活用した親水公園を整備します。	都市計画課	平成26年度に押草下池にポケットパークを設置しました。(条例には定めていません。)今後も、ため池を活用するため、産業振興課と調整していきます。	C
	◇ 河川を利用したウォーキングロードを整備します。	建設課	区画整理事業の進捗状況を把握しながら施工します。今後、利用者の増加に伴い、安全対策として転落防止柵の設置を検討します。	B
(2) 環境学習の推進	◇ 子どもたちが環境にやさしい活動を主体的に行い、人と環境の関わりについて学ぶ場を提供します。	環境課	環境学習の場として、こどもエコぼんぱくや境川生きものウォッチングを開催しています。今後も子どもたちの興味を引き付ける内容の環境学習講座や環境イベントの充実を図ります。	B
	◇ 緑や生きものなどの自然にふれあうことのできる機会を提供します。	環境課	境川生きものウォッチングを開催し、川の生きものを調べていきます。今後も継続していきます。	B
(3) 環境保全対策の推進	◇ 公害の発生源である事業者に対する監視・指導を強化するとともに、生活型公害に関する啓発活動を推進し、快適な生活環境の維持に努めます。	環境課	事業者の監視・指導や生活型公害の啓発を行っています。今後は広報等による生活型公害に関する啓発をしていきます。	B
	◇ 河川の水質調査、水生生物調査により、河川環境を定期的に把握しながら、水質浄化に対する意識の向上に努めます。	環境課	河川の水質調査、境川生きものウォッチングを行っています。今後も河川の定期的な水質調査を行い、広報等による水質浄化の啓発を継続していきます。	B
	◇ 合併処理浄化槽の設置に対して補助することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止します。	環境課	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対し補助を行っています。今後も広報等による補助制度の周知を継続していきます。	B
(4) 環境衛生対策の推進	◇ 犬の飼い方教室の開催や、適正な飼育方法の啓発などを通じて、飼い主のモラルの向上に努めます。	環境課	犬の飼い方教室を開催し飼い主に対しマナー啓発を行っています。今後は飼い方教室の見直しを検討し、広報等による飼い主のマナーの啓発を継続していきます。	B
	◇ 犬の登録や狂犬病予防注射の実施を啓発し、無登録犬の減少を図るとともに、狂犬病を未然に防止します。	環境課	狂犬病予防法に基づく犬の登録事務や集合注射を実施しています。今後も広報等による狂犬病予防注射の啓発を継続していきます。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

i 自然環境の保全や創出に満足している町民の割合

項目	点数	項目	点数
満足度	0.03点	重要度	0.78点

総合分析
要検討分野

ii 公害対策などの環境汚染対策に満足している町民の割合

項目	点数	項目	点数
満足度	0.03点	重要度	0.92点

総合分析
継続推進分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

6 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進め

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 普段から省エネを心がけている町民の割合	%	62.6	68.0	73.0	62.6	68.0	73.0	23.8%	114.0%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	77.5		実績値						
ii 公共交通機関を利用するようにしている町民の割合	%	20.7	26.0	31.0	20.7	26.0	31.0	8.1%	86.1%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	22.4		実績値						
iii 東郷版ISO認定家族数	家族	267	400	500	267	400	500	9.7%	73.3%	申請前に冊子を読み込むのに時間がかかる等、申請者の負担が大きいく気軽に参加しにくいのではないかと思います。	△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	293		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 地球温暖化対策の推進	◇ 町民一人ひとりが、地球温暖化防止対策の重要性を認識し、家庭・学校・地域において温室効果ガスの削減に配慮した行動を実践できるよう支援します。	環境課	レジ袋削減の取り組みや東郷版ISOチャレンジ100の普及・啓発をしています。今後も広報等による啓発を行うとともに、環境学習イベント等での啓発を行います。	B
(2) 東郷町エコプランの推進	◇ 役場も自らが温室効果ガスの大きな排出事業者の一つであるという認識のもと、エコプランに基づき、庁内における温室効果ガス排出量の削減を図り、率先して排出抑制に取り組めます。	環境課	東郷町エコプランを推進しています。今後も職員一人ひとりへの環境教育を徹底します。	B
(3) 自然エネルギーの利用促進	◇ 環境への負荷が少ない自然エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムや太陽熱利用温水器の普及を進めます。	環境課	住宅用太陽光設備設置費補助を行っています。今後は、現行の補助制度について見直しを検討するとともに、新たな補助制度について検討します。	B
(4) エコモビリティライフの推進	◇ 公共交通を利用するエコモビリティライフの実現に向けて積極的に取り組みます。	環境課	東郷中央土地区画整理事業や環境学習イベント等においてエコモビリティライフを普及・啓発します。	C
	◇ 公共交通中心の移動手段を推進するエコモビリティライフを普及・啓発します。	環境課	東郷中央土地区画整理事業や環境学習イベント等においてエコモビリティライフを普及・啓発します。	C

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.01点	重要度	0.85点

総合分析
要検討分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

IV 安全で環境にやさしいうるおいのあるまち

7 資源を大切に、環境負荷の少ないまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 普段からリサイクルに心がけている町民の割合	%	63.4	69.0	74.0	63.4	69.0	74.0	13.8%	104.5%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	72.1		実績値	72.1					
ii 処理しなければならないごみの量(1人1日当たり)	g	756	740	720	756	740	720	0.0%	102.2%	・平成23年度以降、大規模なごみ減量の新施策を打ち出していません。 ・事業系ごみが目標値の計算式に含まれており、事業系ごみ量の上昇が大きく影響していると思われます。	×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	756.0		実績値	756.0					
iii 資源化率	%	18.0	20.0	22.0	18.0	20.0	22.0	-5.6%	85.0%	・23年度以降、大規模なごみの資源化の新施策を打ち出していません。 ・事業者の資源化率が不透明であり計上できていません。 ・民間の資源回収が活発化してきており、町が把握できるものが減少しています。	×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	17.0		実績値	17.0					

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 3Rの推進	◇ 限りある資源や物の大切さなどの意識向上を図り、3R活動を推進します。	環境課	環境学習やイベントの場を活かし、更なる意識の向上を推進します。	B
	◇ リサイクルを推進するため、資源回収ができる場所の造設や資源として回収する品目の拡大などを進めます。	環境課	生活環境の変化に応じて資源回収品目の拡大に努めます。	B
(2) ごみ・し尿の適正処理	◇ ごみの排出に関する正しい知識の普及啓発に努めます。	環境課	地域の実情に合わせた啓発活動を進めてまいります。	C
	◇ ごみの分別の徹底や減量化を通して、ごみの適正処理を推進します。	環境課	計画収集での分別種類の拡大を検討します。	C
(3) まちの環境美化と不法投棄対策の推進	◇ 清潔な生活環境を保持するため、ごみのポイ捨てや不法投棄に対する監視体制を強化し、環境美化意識の向上に努めます。	環境課	廃棄物減量等推進員や不法投棄監視パトロールを効果的に活用し、町内の環境美化に努めます。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.41点	重要度	1.08点

総合分析
継続推進分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

1 地産地消により農業の活性化を目指す

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 地産地消の推進に満足している町民の割合	%	11.4	17.0	22.0	11.4	17.0	22.0	61.9%	108.6%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	18.5		実績値	18.5					
ii 農業の活性化対策に満足している町民の割合	%	7.5	13.0	18.0	7.5	13.0	18.0	72.8%	99.7%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	13.0		実績値	13.0					
iii 地元の農産物を購入したいと思っている町民の割合	%	52.7	58.0	63.0	52.7	58.0	63.0	4.6%	95.0%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	55.1		実績値	55.1					
iv 認定農業者数	人	6	8	10	6	8	10	0.0%	75.0%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	6		実績値	6					
v 農学校受講者数(1年間)	人	17	20	25	17	20	25	11.8%	95.0%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	19		実績値	19					

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 担い手及び新規就農者の育成	◇ 地域の担い手等への農地の利用集積、拡大を進めます。	産業振興課	経営規模を縮小する兼業農家などに部分作業委託も含めて担い手への集約を促すとともに、担い手が農地を借地する場合には、支援を行い農地の利用集積を進めています。今後は、担い手の組織強化を図る必要があります。	B
	◇ 農業経営が効率的に行われるよう支援します。	産業振興課	就農意欲の喚起と就農後の経営安定を図るため、経営開始直後の青年就農者に対し、国庫交付金事業を活用して支援を行っています。今後は、各経営計画が達成されるよう、随時聞き取りを行いながら支援していきます。	B
	◇ 農学校を運営し、新規就農者を育成します。	産業振興課	農学校運営事業を今後も継続します。農学校の定数の増加を検討していきます。	B
(2) 生きがい農業の実践	◇ 農学校を通じて、定年退職者等多様な農業者を育成します。	産業振興課	農学校運営事業を通じて多様な農業者の育成を継続します。	B
(3) 特産品の開発	◇ 農産物の特産品を開発し、農業の活性化を図ります。	産業振興課	引き続きローゼルを使用した商品の開発に努めます。	C
(4) 地産地消の推進	◇ 学校給食の食材選定に当たっては、できる限り地元食材を活用します。	給食センター	地場産物の活用については、①東郷町産又は愛知県産の食材であり、②食数(約4,800食)を確保でき、③市場価格と比べ著しく高価ではなく、④給食として提供することに適している等の条件があり、農協や地元農家等と連携し行う必要があります。	B
	◇ 地産地消を推進するため、農産物直売所の設置を進めます。	産業振興課	新たな直売所を設け、常時販売できる町内農産物の生産量の確保策などについて検討中です。	C

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

地産地消の推進

項目	点数	項目	点数
満足度	0.03点	重要度	0.76点

総合分析
要検討分野

農業の活性化対策

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.01点	重要度	0.65点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

2 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致・育成を進める

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 働く場や機会に満足している町民の割合	%	5.6	11.0	16.0	5.6	11.0	16.0	73.0%	88.1%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	9.7		実績値						
ii 商工業の活性化対策に満足している町民の割合	%	5.8	11.0	16.0	5.8	11.0	16.0	28.6%	67.8%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	7.5		実績値						
iii 新しく誘致できた企業数	社	0	3	6	0	3	6	-	133.3%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	4		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 商業施設の立地促進	◇ 春木・和合地内における新たな区画整理事業により、商業用地を創出し、商業施設を誘致します。	セントラル開発課	土地区画整理事業が円滑に進むよう、土地区画整理組合との連絡調整を定期的実施するとともに、事業予定者との調整も継続的に実施します。	A
(2) 町内企業の拡張及び新たな産業の誘致・育成	◇ 諸輪東部地区などに新たな産業拠点の形成を誘導するため、工場の誘致、工業系土地利用の推進に向けて、情報発信、優遇措置等を検討します。	産業振興課	引き続き諸輪東部開発委員会と情報の共有を図るとともに、工場立地の相談の際に支援制度などを紹介し新たな産業拠点の形成を誘導に努めます。	B
	◇ 既存産業の振興を図るため、国や県の施策と連携しながら、新技術・新製品開発などの技術革新の支援、次世代産業への参入の支援を行います。	産業振興課	引き続き諸輪東部開発委員会と情報の共有を図るとともに、工場立地の相談の際に支援制度などを紹介し新たな産業拠点の形成を誘導に努めます。	C
(3) 特産品の商品化への支援	◇ 商工会、農協、農業者等と連携し、現在開発している特産品を商品化し、町の主要な小売店及び全国に販売できるシステムを検討します。	産業振興課	引き続きローゼルを使用した商品の開発に努めます。	B
(4) 新たな産業を担うNPO等の育成	◇ 新たな産業としてのコミュニティビジネスを担うNPO等を育成します。	産業振興課	本町の実態に合ったコミュニティビジネスを模索し、関係課と連携してまちづくり会社の育成に努めます。	C

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

働く場や機会

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.24点	重要度	0.94点

総合分析
重点改善分野

商工業の活性化対策

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.27点	重要度	0.77点

総合分析
重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

3 魅力ある市街地を整備する

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 開発による住宅地の整備に満足している町民の割合	%	12.6	18.0	23.0	12.6	18.0	23.0	-6.5%	65.4%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	11.8		実績値						
ii 東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	%	62.6	68.0	73.0	62.6	68.0	73.0	8.3%	99.7%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	67.8		実績値						
iii 住居系市街化区域面積	ha	505	545	555	505	545	555	9.1%	101.1%		○
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	551		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 秩序のあるまちの形成	◇ 土地の合理的かつ友好適切な利用の調整を図ります。	企画情報課	大規模な開発等については、土地対策会議を開催し、町意見を取りまとめています。今後も継続します。	A
	◇ 集落地の住環境の改善を図るため、公共施設の整備・誘導を図ります。	建設課	地区の要望により、公共施設(道路等)の整備を進めています。今後も継続します。	B
(2) 中心核の形成	◇ 土地区画整理事業により、中心核の形成を誘導します。	セントラル開発課	土地区画整理事業が円滑に進むよう、土地区画整理組合との連絡調整を定期的実施しています。今後も継続します。	A
(3) 新たな産業拠点の形成	◇ 諸輪東部地区などに新たな産業拠点の形成を誘導します。	産業振興課	今後も支援制度を紹介するなど積極的に企業誘致に努めるとともに、現状の組織体系を見直し窓口を一本化するなど相談しやすい環境づくりに努めます。	B
(4) 墓地・火葬場の整備	◇ 今後の動向に応じ、広域的な観点も考慮しながら墓地や火葬場の整備のあり方を検討します。	企画情報課	近隣自治体の状況を把握し、連携等による問題解決の方法を模索します。	D

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.12点	重要度	0.57点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

4 緑豊かなうるおいのあるまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 公園や緑地の整備に満足している町民の割合	%	31.6	37.0	42.0	31.6	37.0	42.0	-28.3%	61.2%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	22.6		実績値	22.6					
ii 近くの公園や広場などを利用している町民の割合	%	21.7	27.0	32.0	21.7	27.0	32.0	11.6%	89.7%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	24.2		実績値	24.2					
iii 公園愛護会登録団体数	団体	制度開始	14	28	制度開始	14	28	-	164.3%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	23		実績値	23					

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 公園・緑地の新規整備及び既存公園の適正な維持管理	◇ 協働による地域密着型の公園・緑地を整備します。	都市計画課	協働で行う規模の新設の公園・緑地はありませんでした。新設整備の際には、住民参加によるワークショップを活用し、進めていきます。	D
	◇ 既存公園の適正な維持管理を行うとともに、地域のボランティアなどに公園愛護思想の普及を進めます。	都市計画課	愛護会団体数は増えており、自治会などと協力し普及を進めていきます。	A
	◇ 維持管理について、指定管理者制度の導入を検討します。	都市計画課	東郷町ふれあい広場、樹池親水公園において導入済みです。	A
	◇ 子どもから高齢者まで誰もが楽しめる施設整備を図ります。	都市計画課	適正な施設の維持管理に努めていますが、更新の際には健康遊具の検討をしていきます。	C
(2) 緑化の推進	◇ 緑豊かな街並みを形成するため、公共施設や公共空地の緑化を推進します。	都市計画課	今後も緑の募金を活用し公民館や学校施設の緑化を推進していきます。	A
	◇ 民有地の緑化を推進するため、町民の緑化運動の推進と自然環境保全意識を向上させます。	都市計画課	県の緑化補助金を活用し、民有地の緑化を推進していきます。(実績:H23,H25)	B
	◇ 緑の募金運動を拡充します。	都市計画課	H24より募金額は減少傾向にあります。今後は家庭募金など拡充について検討していきます。	C
	◇ 植樹活動を展開します。	都市計画課	H23~H25に植樹祭を行いました。引き続き新たに植樹する場所の検討をしていきます。	B
(3) 水と緑のネットワーク構想の推進	◇ 財政状況に応じて、整備を推進します。	都市計画課	財政状況が厳しく、今のところ新たな整備は困難です。	D
	◇ 推進に向け、河川管理者や愛知用水など関係機関と調整を図ります。	都市計画課	東郷町グリーンベルトを考える会と共に、自然観察会や自転車の学校を開催しました。(平成26年度まで)	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数	総合分析
満足度	-0.1点	重要度	0.95点	重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

5 美しい街並み景観のあるまちをつくる

①「達成度」の評価区分
 ◎：平成32年度目標数値達成
 ○：平成27年度中間目標達成
 △：平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×：現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値		増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成27年度末	平成32年度				
i 町民農園開設箇所数(個人開設)	箇所	2	4	8			0.0%	50.0%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度						
		実績値	2							

②「達成度」の評価区分
 A：十分に達成している
 B：まあまあ達成している
 C：あまり達成していない
 D：まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 住宅地の街並み形成	◇ 地区の特性に合わせ、地区計画制度などを活用し、住宅地などのゆとりとるおいのある景観の形成を推進します。	都市計画課	今後も地区計画制度等を活用し、地域に合った景観づくりに努めていきます。また、新たな開発区域に対しても地区計画等の導入を検討していきます。	B
	◇ 町民主体による公園コンクールの実施等、町民パワーを活用した美しい街並みづくりを検討します。	都市計画課	平成26年度に文化産業まつりにおいて「ガーデンコンクール」を開催しました。参加者より様々な意見が出されているため、実施内容について再度検討します。	C
(2) 農地の景観保全	◇ 耕作放棄地を利用した農園の開設を支援します。	産業振興課	耕作放棄地の活用を図るため、利用意向調査の実施を検討します。	C
	◇ 市街化区域の遊休農地について、所有者に草刈等適正な維持管理を周知するとともに、周囲の環境に適合した都市的土地利用を推進するよう啓発します。	産業振興課	農業委員会と連携を密にし、市街化区域内農地が適正に管理されるよう遊休農地の所有者に継続的に啓発していきます。	B
		都市計画課	今後も土地利用の相談があった際には指導要綱等を基に適正な利用を啓発していきます。	B
(3) 良好な景観の維持	◇ 良好な景観を維持するため、屋外広告物条例で定める大きさ・デザインとなるよう指導に努めます。また、違反屋外広告物の簡易除去やパトロールを充実させます。	都市計画課	はり紙等の簡易除去については、定期的にも実施しました。今後も引き続き、屋外広告物条例に基づき適正な指導を行っていきます。	B
	◇ 伝統的風景や古木・大樹などの維持・保存活動を支援します。	生涯学習課	町天然記念物のアベマキとクロガネモチについて、愛知県緑化推進委員会のふるさと樹木診断事業を実施希望し、樹木診断に立ち合っています。今後も所有者の保存活動を支援します。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.17点	重要度	0.83点

総合分析
改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

6 安心して通行できる道路網を整備する

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 道路の整備に満足している町民の割合	%	23.5	29.0	34.0	23.5	29.0	34.0	-35.4%	52.4%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	15.2		実績値						
ii 歩車道境界の段差解消箇所数	箇所	4	28	48	4	28	48	575.0%	96.4%		△
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	27		実績値						
iii 通学路総点検実施小学校区数	地区	2	6	6	2	6	6	200.0%	100.0%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度	時点	平成26年度末	平成32年度				
		実績値	6		実績値						

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 都市計画道路の整備	◇ 土地区画整理事業に合わせ、都市計画道路名古屋春木線を整備します。	セントラル開発課	土地区画整理事業が円滑に進むよう土地区画整理組合との連絡調整を定期的にも実施するとともに、今後も継続的に社会资本整備総合交付金を活用していきます。	A
		建設課	土地区画整理事業の進捗に合わせて、県に整備を要望しているところ。今後も継続します。	B
(2) 歩行者にやさしい道路整備	◇ 安全に歩行者が通行できるように歩道、道路の整備を促進します。	建設課	定期的にも町内パトロールを行うことで、早急に道路の危険を察知し対応しているところ。今後も継続します。	B
	◇ 歩行者が安心して通行できるように歩道の縁端部の段差解消を促進します。	建設課	地区要望等も考慮しながら優先順位をつけて工事を実施しています。今後も継続します。	B
	◇ 通行に支障がある箇所を把握するため、小学校区単位で交通安全総点検を実施します。	学校教育課	支障箇所の対応については、人的面や道路のハード面等様々な対応が必要となり、各課の連携が必須となります。今後も通学路の安全確保に努め、各課連携し点検を実施していきます。	B
(3) 暮らしやすい道路の形成	◇ 狭小道路の解消のため、地区計画道路の整備を推進します。	建設課	地区計画道路について、建築等の計画があった際にセットバック部分を寄附受領して整備を進めています。今後も継続します。	B
	◇ ボトルネック交差点を改善します。	建設課	樹池交差点改良工事により、右折専用レーンを作ったことにより渋滞の解消をしました。今後も改善に努めます。	B
	◇ 自転車専用道や専用通行帯を整備します。	建設課	対象路線として、路肩幅員が1.5m以上であり、カラー舗装がある路線について検討しています。	C
	◇ 計画的に舗装を修繕し、ライフサイクルコストの削減に努めます。	建設課	地区や住民要望については、優先順位をつけることで、計画的にも工事を行い、ライフサイクルコストの削減に努めているところ。今後も継続します。	B
	◇ 夜間の道路交通の安全確保のため、道路照明灯の定期的な点検に努めます。	建設課	道路照明灯の常時点灯や不点灯があれば迅速に修繕を行っています。今後は、LED照明に交換をし、安全確保に努めて参ります。	B
(4) 幹線道路の整備	◇ 自動車交通を円滑にするため、関係機関に整備促進の要望を積極的に行います。	建設課	地区や住民要望により、関係機関への調整が必要な際には、整備促進の協議に努めているところ。今後も継続します。	B
	◇ 計画道路の整備については、優先順位や費用対効果を考慮して実施します。	建設課	土地区画整理事業の進捗に合わせて、名古屋春木線の整備を優先して県に要望しているところ。今後も継続します。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.37点	重要度	1.12点

総合分析
重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

7 公共交通の利便性を高める

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i バスなどの公共交通機関の整備に満足している町民の割合	%	15.8	21.6	26.0				-6.4%	68.5%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	14.8								
ii 巡回バス利用人数	人	127,688	140,000	154,000				29.7%	118.3%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	165,639								

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 巡回バスの充実と公共交通の利用促進	◇ 町民ニーズを正確に把握し、路線延長・変更等を行い、サービスの向上を図ります。	くらし協働課	今後も町民や利用者のニーズの把握に努め、地域に見合った路線について研究していきます。	A
	◇ 地域公共交通会議を活用し、利用しやすい環境づくりを推進します。	くらし協働課	今後も地域公共交通会議を活用し、利用しやすい環境づくりを推進していきます。	A
	◇ バス及びバス施設のユニバーサルデザイン化・バリアフリー化を促進します。	くらし協働課	新たにバスを導入する場合は、ノンステップ仕様のバスの導入を推進していきます。	A
	◇ 公共交通の利用を促進するため、車に頼らないライフスタイルへの転換やエコ通勤などを普及・啓発します。	環境課	広報等による啓発を行うとともに環境学習イベント等においてエコ通勤等を普及・啓発します。	C
(2) 近隣市との連携、広域的な交通手段の充実	◇ 公共交通機関を利用し、近隣市との連携の充実を図ります。	くらし協働課	近隣のコミュニティバスとの乗継環境の改善など、近隣市との連携について研究していきます。	B
	◇ 法定協議会を活用し、広域的な交通手段の充実を図ります。	くらし協働課	東郷町地域公共交通会議を活用し、公共交通ネットワークの充実を図ります。	A

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	-0.56点	重要度	1.26点

総合分析
重点改善分野

※満足度及び重要度は加重平均点

第5次東郷町総合計画の施策進捗状況調査シート

V 産業が活性化し、快適でいつまでも住み続けたいまち

8 安定した水道の供給と下水の的確な処理を進める

①「達成度」の評価区分
 ◎:平成32年度目標数値達成
 ○:平成27年度中間目標達成
 △:平成27年度を下回っているが現況値より進捗している
 ×:現況値を下回っている

① 目標指標の達成状況

指標	単位	現況値			目標値			増加率	達成率	目標値が達成できそうもない 又は変更を要する理由	達成度
		平成23年度	平成27年	平成32年	平成23年度	平成27年	平成32年				
i 下水道の整備に満足している市民の割合	%	38.8	44.0	49.0				-26.8%	64.6%		×
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	28.4								
ii 水洗化率	%	84.3	85.0	90.0				8.5%	107.6%		◎
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	91.5								
iii 公共下水道供用面積(市街化区域)	ha	440.4	501.3	516.0				11.5%	97.9%	市街化区域の拡大に伴い 整備計画面積が変更と なっています。	△
		時点	平成26年度末	平成32年度							
		実績値	490.9								

②「達成度」の評価区分
 A:十分に達成している
 B:まあまあ達成している
 C:あまり達成していない
 D:まったく達成していない

② 施策の推進状況と今後の課題、評価

施策	施策の展開方向	担当課	施策の今後の課題・展望	達成度
(1) 水洗化の推進	◇ 供用区域の水洗化率向上のため、啓発活動を推進します。	下水道課	供用開始から一定期間を経過した地区の下水道への未接続者に対し、戸別訪問により下水道への接続のPR活動を実施し水洗化率の向上を図っています。今後も継続します。	A
(2) 市街化区域の下水道整備	◇ 下水道未整備地区を解消し、下水道を利用できる環境整備を促進します。	下水道課	未整備地区を始め、今後、東郷中央土地区画整理事業の進行状況を考慮して幹線管路の整備を実施していきます。	B
(3) 下水道の維持管理	◇ 長寿命化計画に基づき耐用年数を考慮に入れた計画を策定し、実施します。	下水道課	既に整備した管渠等の設備について、安定した下水道経営も考慮し、計画的に施設の老朽化対策を図っています。今後も計画的に実施していきます。	B
(4) 上水道の安定供給	◇ 愛知中部水道企業団に対し、老朽施設の更新や耐震補強整備を要請します。	下水道課	愛知中部水道企業団に対し、地震等の災害時にも安定して水道水の供給ができるように老朽化した施設等の更新や耐震化整備について、引き続き要請をしていきます。	B
	◇ おいしく安全な水を安定供給していくため、アクア・シンフォニー計画を推進します。	下水道課	愛知中部水道企業団が策定したアクア・シンフォニー計画の推進について、今後も継続して要請していきます。	B

③ 「住民意向調査」の結果から見た総合分析

項目	点数	項目	点数
満足度	0.12点	重要度	0.97点

総合分析
継続推進分野

※満足度及び重要度は加重平均点